

## 令和6年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和7年5月現在)

資料2

## 【基本方針1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出(施策の方向 I 心の豊かさを目指して、II 文化芸術をすべての市民に)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的	R6 計画時	R6 実績	R6 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 計画時	市総合計画	まちづくりアンケート R5 R6速報値			
1		多文化共生理解講座	伊賀市国際交流協会	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-I	多様な文化的背景がある市民が、お互いの文化を学び、正しい理解を深めることで多文化共生の地域づくりを進めます。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 5回 270,000円 50,600円	158人 7回 259,906円	世界の料理教室では、それぞれの国の料理だけでなく文化等についても理解を深め、さらに興味を持ってもらうことができた。サッカー教室やたき火イベントでは、市内の色々な国の親子が楽しみながら言葉の壁を越えて交流することができた。	他の事業と組み合わせる	6-2 多文化共生	満足度 参画度	63.9% 40.3%	60.1% 40.0%	
2	新	多文化共生センター事業	伊賀市国際交流協会	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-I	多様な文化的背景がある市民が、お互いの文化を学び、正しい理解を深めることで多文化共生の地域づくりを進めます。	参加者数 開催数 開催経費 収入					100人 2回 60,000円				
3		伊賀市国際交流フェスタ	伊賀市国際交流協会・伊賀市国際交流フェスタ実行委員会 伊賀市(多文化共生課)	伊賀市教育委員会	1-I 1-II 2-I 2-II 5-I	在住外国人と地域住民の交流の場を提供し、市民の国際意識の向上と相互理解、友好交流を深め、多文化共生社会の構築を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,000人 1回 650,000円 284,000円	1500人 1回 932,628円	国際交流屋台村や国際交流ステージなど主体的に参加する在住外国人が増え、自国の食や文化を自ら披露できる大変意義のある場となっている。また、それらの食や文化の交流を通じて、日本人と外国人が互いを認め合い、信頼の中で安心して生活できるよう、交流の輪をさらに広げていきたい。		1,000人 1回 650,000円				
4		伊賀市民美術展覧会 (市展「いが」)	企画振興部 文化振興課 (公財)伊賀市文化都市協会		1-I 1-II 2-II 3-I 4-I 5-II 7-I	市民の造形芸術の創作意欲を高めていただくとともに、市民文化の向上に寄与する	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,400人 1回 625,000円 100,000円	1,007人 1回 619,294円	昨年度まで全体の1/3の出展数があったが、高校生からの出展が減少し、全体の出展数が減少した。	継続	1,400人 1回 625,000円				
5		伊賀市民文化祭	伊賀市民文化祭実行委員会 企画振興部 文化振興課	伊賀芸術文化協会、各支所管内サークル連絡協議会、各活動ジャンル代表者	1-I 1-II 3-I 7-I 7-II	文化芸術活動に取り組む市民の日頃の活動の成果を発表する場として開催することで、市民の文化意識と活動の向上を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	2,000人 1回 1,976,000円 300,000円	2,120人 1回 2,180,793円 276,500円	展示部門ならびに舞台部門のライトミュージック、ダンスについては従来通り実施。総合フェスティバルについては、来場者数や出演団体の減少から開催日数を短縮して実施。来場者数は概ね目標達成。今後も社会情勢に合わせ実施方法を検討する。	継続	2,000人 1回 2,314,500円 300,000円	6-3 文化・芸術	満足度 参画度	46.6% 37.3%	49.2% 38.0%
6		市役所本庁舎を使った美術作品の展示	企画振興部 文化振興課美術博物館建設準備室		1-I 3-II 4-I 4-II 5-II 7-I	市が所蔵する美術作品を、来庁者の多い1階ロビーに展示する。また、4階市民ミニギャラリーを、市民に広く絵画等の展示場所を提供することで、市民の文化芸術活動の発表の場を確保する。これらの取り組みにより市民等が文化芸術に触れる機会を創出する。	参加者数 開催数 開催経費 収入			毎月展示を行い、市民の皆さんが文化芸術に触れる機会の創出に努めた。展示作品保護への対応に課題を感じている。	継続		12回			
7	新	新図書館開館プレ事業	教育委員会事務局 上野図書館		1-I 2-I 4-II 5-I	旧上野市庁舎での参加型の劇や展示などの開催を通じ、新図書館の開館に向けた機運の醸成を行い、図書館や読書への关心や親しみ、図書館利用につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入					6回				
8		第3回悠々セミナー 映画鑑賞会「東京物語」(三重県にゆかりある小津安二郎監督の代表作)	教育委員会事務局 生涯学習課		1-I	三重県にゆかりのある小津安二郎監督の生誕120年・没後60年を記念して、世界で高く評価されている小津監督の作品(代表作「東京物語」)を上映し、参加者に親しんでいただく。	参加者数 開催数 開催経費 収入		28人 1回	映画を鑑賞された方は満足されていたが、寒い時期の開催で、年間登録者の半数近くが不参加であった。	継続		50人			
9		青山ふるさと美術文化展覧会	青山文化サークル連絡協議会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-I 1-II 2-II 3-II 7-I	青山地域で日頃行われている活動の成果を発表・展示することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入									
10		青山ふるさと芸能発表会	青山文化サークル連絡協議会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-I 1-II 2-II 3-II 7-I	青山地域で日頃行われている活動の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入									
11		サークルまつり	上野サークル協議会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-II 1-II 2-II 3-II 7-I	上野サークル協議会会員の紹介、活動発表および会員相互の交流を図る。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入			日頃の文化芸術活動の成果を展示することで、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。						
12		やまなみ文化祭	やまなみ文化協会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-I 1-II 2-II 3-II 7-I	やまなみ文化協会加盟団体の紹介、活動発表および会員相互の交流を図る。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入			各種サークルの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。						
13		あやま文化交流会	あやま文化協会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-I 1-II 2-II 3-II 7-I	地域に活力と潤いのある文化的な街づくりを目指した活動および会員相互の交流を図る。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入			各種サークルの発表や展示があり、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。						
14		島ヶ原文化サークルまつり	島ヶ原文化サークル連絡協議会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-I 1-II 2-II 3-II 7-I	サークル団体の活動発表および会員相互の交流を図る。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入			各種サークル、グループの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。						
15		伊賀市健康マイレージ	健康福祉部健康推進課	伊賀市文化都市協会	7-I	市民が主体的に健康づくりを行うことで、健康の保持増進を図り、健康寿命を延伸する。賞品の中にクラシックコンサートチケットを入れることにより多くの市民が文化芸術に触れあえる機会を創出する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 256人		今後も継続して事業を実施することによりより多くの市民が文化芸術に触れあえる機会を創出するよう努める。			300人			
16		作品展示(障害者週間啓発事業)	健康福祉部障がい福祉課	伊賀市障害者福祉連盟、市内障害福祉サービス事業所など	1-II 2-I 7-I	障害者基本法に基づき、毎年12月3日から12月9日までの期間は「障害者週間」と定められている。この期間を利用して、障がいに関する啓発活動を行うことにより、地域住民の理解と認識を更に深めることを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		①ギャラリー列車及びにんまるバス内②伊賀市役所本庁1回市民スペースについて法人等より作品の提供をいただき展示を行った。障がいのある人の作品を見ていただくことで、障がいに関する理解や認識の向上につながった。入場受付やアンケートをしているものではないため、成果の可視化ができず、改善等につなげにくいことが課題と考える。				1			

## 令和6年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和7年5月現在)

資料2

## 【基本方針2】子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充(施策の方向 I 子どもたちの心を豊かに、II 成長に即した文化芸術の提供)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R6 計画時	R6 実績	R6 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート		
														R5	R6速報値	
17		読み聞かせ会	教育委員会事務局 上野図書館・図書室、生涯学習課	読み聞かせボランティア (いがぐり、よもよも、ちいさなねこ、おはなしコットン、はあと&はあと、きらきら、だっこ、ひつじ、どううっこ、お話の国アリス、kikoきこ、みなみ風他個人)	1-I 1-II 2-I 2-II 3-I 3-II 4-I 7-I 7-II	幼い頃から、読み聞かせをすることで、言葉やおはなしの世界を知り、本に親しむ機会を作る。また、図書館(室)での読み聞かせ会に参加することで、絵本や本、図書館に親しみを持ち、読書や図書館利用につなげていくため。	収入	参加者数 開催数 開催経費	106回 93回	・参加者数が減少していることから、周知方法の検討が必要である。 ・事業の担い手である読み聞かせボランティアの新規参加や新規参加や育成が必要である。	継続	5-5 生涯学習	満足度 参画度	45.8%	49.4%	
18		ファミリースマイルアップ講座	人権生活環境部 子育て包括支援センター 男女共同参画センター 伊賀市文化都市協会		2-I 2-II	子育て世代の家族みんなで楽しく人権感覚を養うことで、ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現につなげる。	収入	参加者数 開催数 開催経費	70人 2回 20,000円	2024年9月29日の開催はフレイルームでの開催はアットホームな雰囲気で行うことができた。参加人数が多い場合は大きな部屋を準備する必要もある。2025年2月8日の開催は前日の積雪の影響でキャンセルが9組出た。	継続					
19		学校アウトリーチ事業	(公財)伊賀市文化都市協会	学校教育課	2-I 2-II 3-I 3-II	音楽やアートに触れる機会が少ない教育現場にアーティストを派遣し、子どもたちに感動を与え心豊かに育つことを願った事業。4カ年にわたり市内全28小中学校で実施する方針。	収入	参加者数 開催数 開催経費				1,268人 7回				
20		上野天神祭り、学びのウォーク	教育委員会生涯学習課	教育委員会事務局文化財課	2-I 2-II 5-I	上野天神祭宵山の日に、上野天神祭のダンジリ行事や鬼行列について学ぶ機会を持つ。	収入	参加者数 開催数 開催経費	10組 2回	降雨のため、樓車に実際に乗る体験はできなかったが、めったに見ることのできない徳居町の鬼行列の出陣式を見学でき、受講者の満足度も高かった。	継続	10組 1回				
21		上野天神祭り、学びのウォーク	教育委員会文化財課	生涯学習課・上野美術保存会	2-I 2-II	上野城下町や上野天神祭に触れ親しみ合う機会づくりの提供(上野天神祭県費補助の活用事業)	収入	参加者数 開催数 開催経費	20人 1回	雨天であったためだんじりの乗車体験が出来ず急なスケジュールの変更により、鬼町への負担が大きくなってしまった。屋根のある見学スペースが少ないので、雨天時は体験などがなくなる可能性がある。雨天時の予定を考慮する必要がある。	継続	20人 1回				
22		ふるさと学習事業 先人に学ぶわら細工「しめ飾り」を作ろう	上野児童福祉会連合会	伊賀市教育委員会生涯学習課	2-I 2-II 1-I	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るために、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通して、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とする。	収入	参加者数 開催数 開催経費	30人 1回	参加者は多くなかったが、参加した子どもたちは一生懸命にしめ飾りに挑戦していた。						
23		ふるさと学習事業 歴史探訪～芭蕉翁記念館から芭蕉ゆかりの地を訪ねて～	上野児童福祉会連合会	伊賀市教育委員会生涯学習課	2-I 2-II 1-I 5-I	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るために、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通して、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とする。	収入	参加者数 開催数 開催経費	20人 1回	参加した子どもたちは大いに学び、大いに楽しんでいた。子どもたちからは、学びにつながったという感想が多く寄せられた。	継続	20人 1回				
24	新	ふるさと学習事業 「伊賀の匠を訪ねて」	上野児童福祉会連合会	伊賀市教育委員会生涯学習課	2-I 2-II 1-I 5-I	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るために、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通して、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とする。	収入	参加者数 開催数 開催経費			継続	20人 1回				
25	新	ふるさと学習事業 「大村神社をはじめ青山地区を訪ね学習する」	上野児童福祉会連合会	伊賀市教育委員会生涯学習課	2-I 2-II 1-I 5-I	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るために、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通して、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とする。	収入	参加者数 開催数 開催経費			継続	20人 1回				

## 【基本方針3】担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ(施策の方向 I 人づくりとまちづくり、II 多様な人材活用による文化芸術の振興)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R6 計画時	R6 実績	R6 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート			
														R5	R6速報値		
26		こども能楽教室	教育委員会事務局 生涯学習課		2-I 2-II	「能」をつくりあげた観阿弥のふるさと伊賀市において、日本の伝統文化である「能」を楽しく体験する。	収入	参加者数 開催数 開催経費	10人 20回 220,000円	受講者は小学生5人と少なかったが、一人一人が「能」の仕舞に一生懸命に取り組み、伝統文化である「能」にふれることができた。また、最終回にはファミリー発表会を開催し、練習の成果を披露した。	継続	10人 15回 165,000円 30,000円	満足度 参画度	6-4 歴史・文化遺産	63.4%	62.0%	
27		上野城薪能	上野城薪能実施委員会(企画振興部文化振興課、(公財)伊賀市文化都市協会)	伊賀市、伊賀市教育委員会、(公財)伊賀市文化都市協会、(一社)伊賀上野観光協会ほか	2-I 2-II 3-I 5-I	能楽劇世観阿弥の生誕地である伊賀市において、毎年中秋の名月の頃に行われる上野城薪能を開催することで、伝統文化の継承、発信を図るとともに、市民等が伝統文化に触れる機会を創出する。	収入	参加者数 開催数 開催経費	250人 1回 7,630,000円	240人 1回 7,970,600円	企業から特別協賛金を得て計画時より収入の増加につながったが、参加者数が目標を下回った。また、最終回にはファミリー発表会を開催し、練習の成果を披露した。	継続	300人 1回 7,630,000円 7,630,000円				
28	新	伝統的工芸品文化振興事業(伊賀焼)	産業振興部商工労働課	伊賀焼振興協同組合	2-I 2-II 3-II 5-I	伊賀市の伝統的工芸品である伊賀焼に親しみ、地域固有の歴史や文化に対する関心を高めること伊賀焼の認知度向上と振興を図る。	収入	参加者数 開催数 開催経費				100人 4回		5-5 商工業・産業立地	満足度 参画度	39.8% 47.0%	
29		伝統的工芸品文化振興事業(伊賀くみひも)	産業振興部商工労働課	三重県組紐協同組合	2-I 2-II 3-II 5-I	伊賀市の伝統的工芸品である伊賀くみひもに親しみ、地域固有の歴史や文化に対する関心を高めること伊賀くみひもの認知度向上と振興を図る。	収入	参加者数 開催数 開催経費	21人 4回			20人 2回					

## 令和6年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和7年5月現在)

資料2

30	伊賀くみひも作り(子どもと保護者の体験教室)	教育委員会事務局 生涯学習課	三重県組紐協同組合	2-I 2-II 3-I	伊賀市の伝統産業であるくみひも作りを子どもの頃から体験し、組紐はどういうものか、その美しさと昔から続く技術にふれ、組紐の魅力に关心を持ち、伝承することの大切さを感じてもう。	参加者数	10組(20人)	13組(30人)	募集20組に対して、64組の応募があり、小学生・保護者にとってニーズの高い事業であり、実際受講した方も自分で作った組みひもを手に入れることができ、満足感を得られたものと思われる。	継続	20組(40人)	1回	80,000円	40,000円
						開催数	1回	1回						
31	陶芸教室(子どもと保護者の体験教室)	教育委員会事務局 生涯学習課	伊賀焼伝統産業会館	2-I 2-II 3-I	伊賀市の伝統文化の一つである陶芸を、産地の丸柱で体験することと、伊賀焼の楽しさやその趣深さを学ぶ。	参加者数	20組(40人)	19組(41人)	募集20組に対して、74組の応募があり、小学生・保護者にとってニーズの高い事業であり、実際受講した方も自分で作った焼き物を手に入れることができ、満足感を得られたものと思われる。	継続	20組(40人)	1回	34,000円	32,000円
						開催数	1回	1回						

## 【基本方針4】施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備(施策の方向 I 施設の管理と機能の発揮、II 施設の保存と有効活用)

No.	新事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R6 計画時	R6 実績	R6 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート	
													R5	R6速報値
32	文化ホール改修事業	企画振興部 文化振興課		4-I 4-II	経年劣化した設備の改修等を行う。また、施設長寿命化計画により施設利用スケジュールや財源調整等により今後大規模改修を行う。		参加者数 開催数 開催経費 収入	伊賀市文化会館等の文化ホールは経年による施設の老朽化が進んでおり、計画的な設備更新、施設改修を行う必要がある。	継続	6-3 文化・芸術	満足度 参画度	46.6% 37.3%	49.2% 38.0%	
33	文化施設改修事業	企画振興部 文化振興課		4-I 4-II	文化財としての価値を後世に継承するため、経年劣化した施設を計画的に改修等を行う。		参加者数 開催数 開催経費 収入	劣化した蓑虫庵月見堂及び茶室待合改修工事、芭蕉堂茅葺屋根修繕工事、庭園整備などを行った。	継続					
34	伊賀市美術館博物館建設	企画振興部 美術館博物館建設準備室		1-I 1-II 4-II 5-I 5-II	伊賀市文化振興ビジョンでは、基本方針として「誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出」や、「施設の整備・有効活用により文化芸術環境を整える」ことを掲げている。このため、市に寄贈された美術作品や文化財などを適切に保管・研究・活用するための美術博物館について、過去より建設の議論が行われてきた芭蕉翁記念館の機能も含めた施設を整備する。		参加者数 開催数 開催経費 収入	令和6年6月に伊賀市美術博物館基本構想が完成。この事業は、多くの市民の意見を取り入れる機会や、未来への投資という観点から、子どもや若者の意見を取り入れる機会を設けながら進める。	継続 基本計画策定					

## 【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造(施策の方向 I 地土が育んできた歴史・文化の再評価、II 新しい文化芸術の創造)

No.	新事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R6 計画時	R6 実績	R6 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート			
													R5	R6速報値		
35	デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀	伊賀市(伊賀市上野図書館・(一社)伊賀上野観光協会		1-I 1-II 2-I 2-II 3-I 3-II 4-I 4-II 5-I 5-II	伊賀市等が所蔵する多くの歴史資料等をインターネット上で公開することで、子どもたちが学校の授業で学ぶとともに、地域においても文化活動として役立てていただきため、また、全国の人々に伊賀の歴史や文化を知りたいため、魅力発信ツールとして活用していく。		参加者数 開催数 開催経費 収入	96人 13回 792,000円	90人 12回 792,000円	貴重な資料を本事業を通じ多くの方に閲覧してもらえることができた。郷土教育担当の教職員の研修の場において、使用説明を行うことができ郷土教育の一助になっている。市民への更なる周知が必要である。	継続	5-5 生涯学習	満足度 参画度	45.8% 32.3%	49.4% 33.5%	
36	郷土の歴史夜咲会	教育委員会事務局 上野図書館		1-I 1-II 2-I 3-I 3-II 4-I 5-I 5-II	郷土史を次世代に伝え、研究する人材を育むことを目的に、学びの機会を提供するため。		参加者数 開催数 開催経費 収入	60人 5回	60人 4回	毎回参加いただける固定層(60歳以上の方)が多く好評を得ている。地域にゆかりのある方をテーマとするため、関係者の参加も見受けられる。	継続	4回				
37	歴史貴重資料企画展示	教育委員会事務局 上野図書館		1-I 1-II 2-I 4-I 4-II 5-I 5-II	伊賀市上野図書館が所蔵する貴重な歴史資料をテーマを決め、展示することで、郷土の歴史や文化について知る機会を設ける。また、展示により郷土への愛着心や興味を養い、調べ物や貸出もつなげていくため。		参加者数 開催数 開催経費 収入	伊賀市上野図書館が所蔵する貴重な歴史資料をテーマを決め、展示することで、郷土の歴史や文化について知る機会を設ける。また、展示により郷土への愛着心や興味を養い、調べ物や貸出もつなげていくため。	報道取材等により周知に繋がっているが、図書館利用者に占める本事業の閲覧者が少ない。	継続	4回					
38	芭蕉祭(式典・月見の献立・全国俳句大会等)	企画振興部 文化振興課 (公財)芭蕉翁顕彰会(一部委託)		1-I 2-I 4-II 5-I 6-I 6-II 7-I 7-II	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進める。		参加者数 開催数 開催経費 収入	200人 1回 11,118,748円	600人 1回 11,118,748円	市民バンドや合唱団においてボランティアで協力してもらっている。平日夜や土日の練習参加や、平日の芭蕉祭開催においては、出勤や通学に影響があることが懸念。	継続	200人 1回 11,411,000円	6-3 文化・芸術	満足度 参画度	46.6% 37.3%	49.2% 38.0%
39	芭蕉生誕380周年	企画振興部 文化振興課		1-I 2-I 4-II 5-I 6-I 6-II 7-I 7-II	2024(令和6)年にあたる芭蕉翁の生誕380年を記念した事業を行い、芭蕉翁生誕の地である伊賀市の文化振興、シビックブランドの醸成等を図る。		参加者数 開催数 開催経費 収入	5,827人 1回 20,000,000円	1回 20,870,205円	俳句ジュニアカップ、芭蕉deART、フィナーレイベント等を実施。特に子どもや若い世代に俳句に触れてもらいう機会を多く開催してもらえたことができた。一過性の周年事業でなく取り組みを継続し次世代へ繋げていく必要がある。	継続(周年事業)					
40	芭蕉翁俳句懸垂幕掲示	企画振興部 文化振興課		1-I 4-II 5-I 5-II 6-I 6-II	芭蕉翁の生誕地であることをPRとともに、市民等に芭蕉の句に親しんでもらうことを季節に合った「芭蕉の俳句」の懸垂幕を掲示し啓発に努める。		参加者数 開催数 開催経費 収入	4回 158,400円	2回 127,600円	令和6年12月までは芭蕉翁生誕380年事業のキャッチコピーを掲示したため、掲示本数は2本。1月以降は通常の俳句を掲示し、2本とも新聞各社がとりあげてくれた。	継続	4回 158,400円				
41	芭蕉翁記念館ギャラリートーク	企画振興部 文化振興課		1-I 3-I 4-I 4-II 5-I 5-II 6-I	芭蕉翁記念館の展示について解説し理解を深めてもらうとともに、展示の観覧に付加価値を与えリピーターの増加を図る。		参加者数 開催数 開催経費 収入	96人 13回	90人 12回	2月開催の1回のみ、天候不良により中止となったため、参加者数が少なくなった。毎回参加する固定客がいるものの、新規参加者は少ない。	継続	90人 13回				
42	第4回懸垂幕講演会	教育委員会事務局 生涯学習課	企画振興部 文化振興課	1-I 5-I 6-I 6-II 7-I	芭蕉祭の関連行事として、文部科学大臣賞を受賞された方を講師として講演会を行い、芭蕉顕彰につなげる。		参加者数 開催数 開催経費 収入	50人 1回	44人 1回	芭蕉祭の事業の一環と考えると、参加者数は少なくも多くの人に参加してほしい。PR活動に注力する。	継続	50人 1回				
43	しぐれ忌	企画振興部 文化振興課 (公財)芭蕉翁顕彰会(再委託 山出区)		1-I 2-I 4-II 5-I 6-I 6-II 7-I 7-II	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進める。		参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 1回 300,000円	100人 1回 300,000円	開催にさきがけ地域の協力によって環境美化作業や清掃等も実施され、例年どおり合唱や講演を実施できた。ほかにも句の短冊板や記念句集の展示、地域団体による寄せ植え展示を実施。	継続	100人 1回 300,000円				
44	しぐれ忌俳句大会	伊賀支所	しぐれ忌俳句大会実行委員会	1-I 5-I	俳句啓発、文化交流に寄与すること		参加者数 開催数 開催経費 収入	10組(7人) 1回	3組(7人) 1回	参加者は減少傾向であり固定化傾向にある。	継続	10組 1回				
45	土芳を偲ぶ俳句会	企画振興部 文化振興課 (公財)芭蕉翁顕彰会(委託)		1-I 2-I 4-II 5-I 6-I 6-II 7-I 7-II	芭蕉翁とその弟子である土芳の功績を世に発信し、俳諧及び俳句の啓発を推進する。		参加者数 開催数 開催経費 収入	50人 1回 60,000円	26人 1回 57,200円	芭蕉の門人の服部土芳の命日に、句会を行った。	継続	30人 1回 60,000円				

## 令和6年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和7年5月現在)

資料2

46	文学振興事業	企画振興部 文化振興課 伊賀文学振興会(委託)		1-I 2-I 3-II 5-I 5-II 7-I	伊賀にゆかりの作家、作品の顕彰等を通じて、地域文化としての文学の振興を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入			文化を通じて人との交流があり、会話が生まれ学びを提供している。「雪解のつどい」においては継続によって主催者の協力関係の強化となり、また地域にとっても定着した事業となっている。	継続			
47	いがまち3偉人展示	伊賀支所	いがまち3偉人顕彰会	2-I 4-I 4-II 5-I	文豪横光利一、俳聖松尾芭蕉、医学博士橋本策の偉業を讃え、顕彰を行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	50人 通年	59人 通年	今後は地域のイベントとコラボするなど周知に努めたい。	継続	50人 通年		

## 【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造(施策の方向 I 地域が育んできた歴史・文化の再評価、II 新しい文化芸術の創造)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R6 計画時	R6 実績	R6 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 計画時	まちづくりアンケート				
													R5	R6速報値			
48		上野天神祭お囃子体験会	教育委員会事務局 生涯学習課	生涯学習課・上野文化 美術保存会	3-I 3-II	江戸時代から語り継がれてきた無形民俗文化財の継承(上野天神祭県費補助の活用事業)		参加者数 開催数 開催経費 収入	10人 1回	7人 1回	申込数は5組であったが、当日キャンセルがあり計画の参加者数に満たなかった。初めての試みとして、子どもだけではなく保護者が太鼓を練習し、子の鉦と合奏を実施した。保護者が真剣に取り組む姿を見ることに繋がり良い試みであった。	継続	10人 1回	6-4 歴史・文化 遺産	満足度 参画度	58.5% 39.2%	63.4% 36.6%
49		「上野天神祭ダンジリ行事」のお囃子の演奏を体験しよう! (子どもと保護者の体験教室)	教育委員会事務局 生涯学習課	上野福居町囃子方の皆さん	2-I 2-II 5-I	だんじり町の子どもたち以外ではなかなか体験することのできないお囃子を、指導を受けながら体験することによって、伊賀市の伝統的な「上野天神祭のダンジリ行事」への参画や、文化継承に興味を持ってもらう。		参加者数 開催数 開催経費 収入	10組 1回	3組(7人) 1回	参加申し込みがありながら、当日欠席の家族もあり少人数の事業となつたが、子どもだけでなく保護者もお囃子演奏を体験していただき、保護者からも結果的に好意的な感想が寄せられた。	継続					
50		オオサンショウウオ観察会	教育委員会事務局 文化財課	生涯学習課・大山田郷 土の広場	2-I 4-I 4-II 5-I	特別天然記念物に触れ親しみ合う機会づくりの提供		参加者数 開催数 開催経費 収入	10人 1回		増水により中止となった。	継続	10人 1回				
51		史跡伊賀国庁跡にかかる文化財ウォーク及び文化財講演会	府中地区住民自治協議会	教育委員会事務局 文化財課	1-I 2-I 5-I	史跡伊賀国庁跡の保存整備事業に伴い、史跡伊賀国庁跡や府中地区の歴史・文化の理解を深め、文化財の保存と継承を図つていくため、文化財ウォーク(秋)と文化財講演会(冬)を実施している。		参加者数 開催数 開催経費 収入	40人 2回	51人 2回	本年度は、11月19日に伊賀国庁跡・波多岐神社を訪れる文化財ウォークを実施し、史跡を見学し説明を実施した。(21人)また、2月28日に講演会を実施した。地区外の参加者を増やせるよう検討する。(30人)	継続		40人 2回			
52		文化財特別公開	教育委員会事務局 文化財課	(公財)伊賀市文化都市 協会	1-I 2-I 5-I 4-II	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、身近な文化財等を題材としながら伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図りたい。		参加者数 開催数 開催経費 収入	30人 1回	50人 4回	令和6年11月9日:20人 人交家住宅文化財保存事業の見学会を実施した。入交家住宅や屋根葺き替え工事の概要などを説明した。 令和6年12月20日:13人 観音寺文化財保存事業の見学会を実施。修理を実施した木造多聞天と保存事業について説明を実施した。 令和7年3月8日:19人 重要文化財である町井家住宅保存修理事業の見学会として文化財ウォークを実施し、丸山城跡へも訪れた。 令和7年3月15日:15人 新大仏寺文化財保存修理事業の事業報告会を実施。新大仏寺の文化財の説明を実施した。 令和7年3月22日:3人 敢國神社文化財保存修理事業の事業報告会を実施。獅子舞や用具について説明を実施した。	継続		30人 1回			
53		文化財講座	教育委員会事務局 文化財課	(公財)伊賀市文化都市 協会	1-I 2-I 5-I	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、身近な文化財等を題材としながら伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図りたい。		参加者数 開催数 開催経費 収入	50人 1回	222人 7回	令和6年8月22日:大山田小教員(20人) 令和6年12月6日:あけぼの学園高校1年生(10人) 令和7年1月20日:みえを知る旅(60人) 令和6年9月24日:商工会議所(10人) 令和6年9月27日:青山中1年生(12人) 令和6年10月27日:俳文学会(70人) 令和6年12月14日:城之越遺跡見学者対応(40人)口	継続		100人 3回			
54		大山田郷土資料館企画展	大山田郷土の広場	教育委員会事務局 文化財課	1-I 4-I 4-II 6-I	大山田地域の文化や歴史遺産に触れ親しみ合う機会づくりの提供		参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 2回	323人 2回	第7回企画展「大山田の古墳」、第8回企画展「伊賀の中世城館-布引編-」が開催され、講師を招へいしての講演会や現地説明会なども企画され、参加者数の増加につながった。	継続		100人 2回			
55		三重大学伊賀連携フィールド市民講座	三重大学伊賀連携フィールド	三重大学、上野商工会議所、企画振興部地域創生課	1-II 5-I 5-II 6-I	三重大学伊賀連携フィールドを拠点として、国立大学法人三重大学、上野商工会議所、伊賀市の三者間で連携協力し、教育・文化・研究の推進を図るとともに、地域振興上の諸課題に適切に対応することにより、伊賀地域の充実・発展に資する。		参加者数 開催数 開催経費 収入	7,800人	6,840人 6,112回	実績は対面開催の参加者数+Youtube動画再生回数を記載している。今年度はYoutube動画再生回数が大幅に減少したことにより、全体の実績は伸び悩んだ。その反面、対面での参加者は昨年度よりふえていることから、より多くの市民へ周知されている。実績内訳:対面参加者718人 Youtube動画再生回数6,112回	継続		7,500人 6-6 定住・関係 人口	満足度 参画度	40% 22%	30.9% 20.9%

## 令和6年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和7年5月現在)

資料2

## 【基本方針6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信(施策の方向 I 文化をツールとした地域活性化、II 都市の文化的な顔づくり)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R6 計画時	R6 実績	R6 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート			
														R5	R6速報値		
56		伊賀上野・城下町のおひなさん	伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会(産業振興部観光戦略課)	上野西部地区住民自治協議会産業建設まちづくり部会・上野東町自治会・上野中町自治会・東町商店街振興組合・上野中町商店会・七福神商店会・三重県菓子工業組合上野支部・伊賀鉄道株式会社・一般社団法人伊賀上野観光協会・上野商工会議所・株式会社まちづくり伊賀上野・中町活性化委員会・名阪上野ドライブイン・公益財団法人伊賀市文化都市市協会・伊賀焼振興協同組合・萌着付作法学院・全日本和装作法伊賀学院	6- I	中心市街地である城下町の風情ある街並みや観光資源をアピールし、集客交流の促進、地域の活性化や振興を目的に実施する。		収入		現在行政が事務局となり、主として事業を進めているが、今後も事業を継続していくのであれば、企画運営を実行委員会が主体となってしていく必要がある。	継続		1,500人 1回	3-1 観光	満足度 参画度	46.1% 44.1% 45.5% 41.1%	
57		日本遺産 忍びの里伊賀・甲賀~リアル忍者を求めて~忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事業	産業振興部 観光戦略課 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会 事業	伊賀市・甲賀市・伊賀市教育委員会・甲賀市教育委員会・一般社団法人甲賀市観光まちづくり協会・信楽町観光協会・一般社団法人伊賀上野観光協会	1- II 3- II 4- II 6- I	日本遺産の認定(平成29年4月28日認定)を受けた伊賀・甲賀が世界に誇る共通の観光資源である忍者について、伊賀流と甲賀流が連携することで、広域的に観光振興を図ることを目的とする。		参加者数 開催数 開催経費	1,500人 1回 351000円			継続		1,500人 1回			
58		ライトアップイベントお城のまわり	お城の周りライトアップイベント実施委員会(産業振興部を中心市街地推進課)	伊賀市文化都市協会・伊賀上野観光協会・上野商工会議所・まちづくり伊賀上野	6- I 6- II	市街地の歴史的・文化的建造物等をライトアップすることで、地域資源のすばらしさを市民及び来街者に再確認してもらう。		参加者数 開催数 開催経費	18,000人 1回 3,350,691円	18,000人 1回 3,221,293円	来場者数は、目標値18,000人を達成し、コロナ前の水準に戻って来た。また、アンケート結果から非常に満足度が高くイベントとなっている。さらに多くの人に来てもらい、伊賀上野を知つてもらえるよう、情報発信や座れる場所の設置などより充実した内容を検討する。	継続		18,000人 1回 3,350,000円	3-4 中心市街地活性化	満足度 参画度	30.9% 41.5% 27.8% 36.5%

## 【基本方針7】文化芸術を通した社会的課題への取り組み(施策の方向 I 社会参加のきっかけづくり、II 協働の場の創造)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R6 計画時	R6 実績	R6 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート			
														R5	R6速報値		
59		人権を考える市民の集いほか(差別をなくす強調月間中の人権講演会等各地区つどい事業)	人権生活環境部 人権政策課 教育委員会事務局	人権啓発地区草の根運動推進会議連絡会、伊賀人権擁護委員協議会、伊賀市同和教育研究協議会	1- I 2- I 3- I 7- I 7- II	11月11日から12月10日の差別をなくす強調月間に、各支所において人権講演会や人権コンサートを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。		参加者数 開催数 開催経費	1000人 5回 1,266,420円	800人 5回 1,013,811円	12月14日の人権を考える市民の集い(上野・島ヶ原地域)のほか、おおやまだ人権フェスティバル、差別をなくすがまちのつどい、青山人権のつどい、おやま人権フェスティバルなど、市内各地で人権講演会を開催し、さまざまな人権問題について考える秋をもつとができた。	継続		1,000人 5回 1,266,420円	5-1 人権尊重・ 非核平和	満足度 参画度	58.6% 46.5% 54.1% 42.8%
60		いきいき未来いが開催事業	いきいき未来いが実行委員会 人権生活環境部 人権政策課	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議	1- I 1- II 2- I 7- I 7- II	男女がともに、男女共同参画の意義・目的を学びあい、性別に関わらずあらゆる場へ参画できる社会の実現をめざす。		参加者数 開催数 開催経費	400人 1回 1,140,550円	457人 1回 787,672円	参加を公募しているものの、関係団体からの参加が多いためアンケート結果が目標を大きく超えてよい結果となっている。よくて当たり前のいう見方もあるが、この層をきっかけに広く全体の意識改革を目指していくため、意味のある結果と考えるしかし先述のとおり広く一般に認知されておらず関係団体以外からの参加者が少ない。また、年齢層も50歳以上の参加者が86%と若者の参加が少ない。働く世代をターゲットにするため、協賛企業等の団体への広報を強化する等、新たな広報手段を模索する必要がある。	継続		400人 1回 1,140,550円			
61		ひゅーまんフェスタ	ひゅーまんフェスタ実行委員会 (人権生活環境部 人権政策課)	伊賀市、伊賀市教育委員会、伊賀市障害者福祉連盟、伊賀市国際交流協会、伊賀人権擁護委員協議会、部落解放同盟伊賀市協議会、伊賀市人権学習企業等連絡会、人権啓発地区草の根運動推進会議連絡会、僕らの移住生活	1- I 2- I 7- I 7- II	「伊賀市人権尊重都市宣言」に則り、すべての市民の人権が保障される明るく住みよい地域社会を築くために、市民一人ひとりが、さまざまな人権課題の解決に向けて、さまざまな視点から学び、考え、行動するきっかけとなること		参加者数 開催数 開催経費	180人 1回 488,528円	200人 1回 427,215円	・計画よりは多くの集客があったが、展示ブースによっては、参加者が少ないところがあった。 ・年代別に見た参加者は20歳代を中心に10歳～40歳代で増加しており、若い世代の参加が増えた。	継続		180人 1回 488,528円			